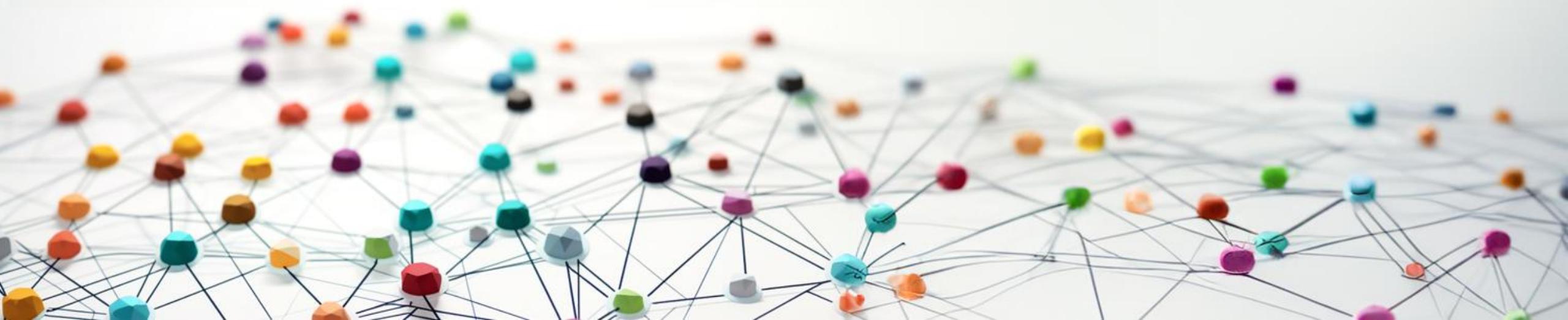


2026年3月期 第1四半期決算補足資料

2025/8/13

株式会社ピーバンドットコム

東証スタンダード・証券コード：3559



目次

01 - 2026年3月期 第1四半期決算 概要

02 - 今後の成長戦略（中期経営計画の概要）

03 - 新たな成長ドメイン

04 - 株主還元について

EX - ご参考資料

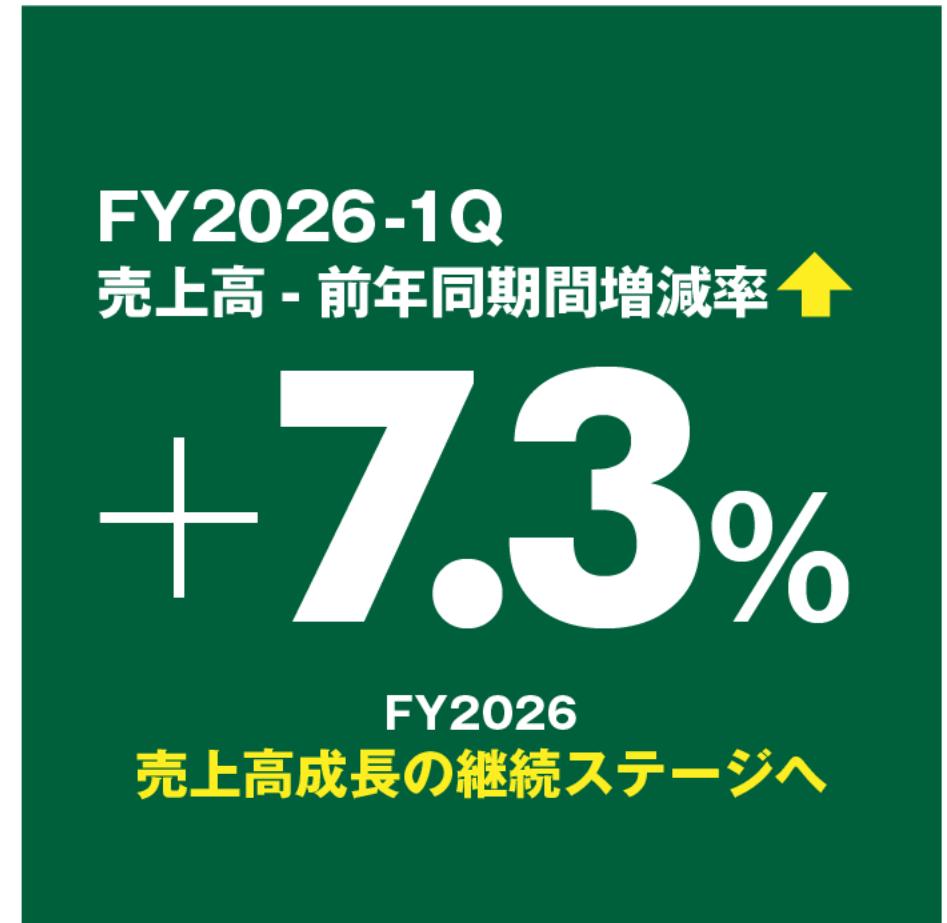
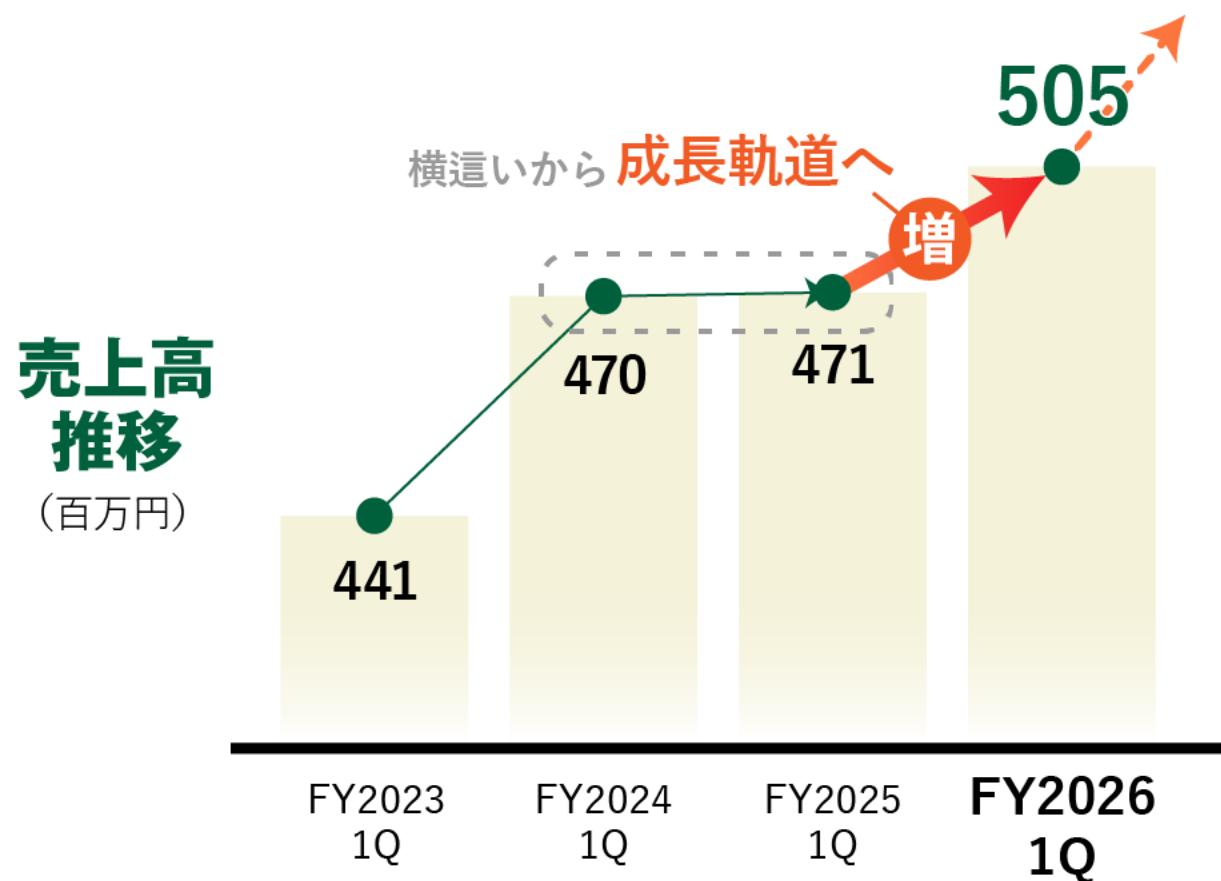
01

2026年3月期
第1四半期決算 概要

2026年3月期 第1四半期決算 概要

売上高-推移

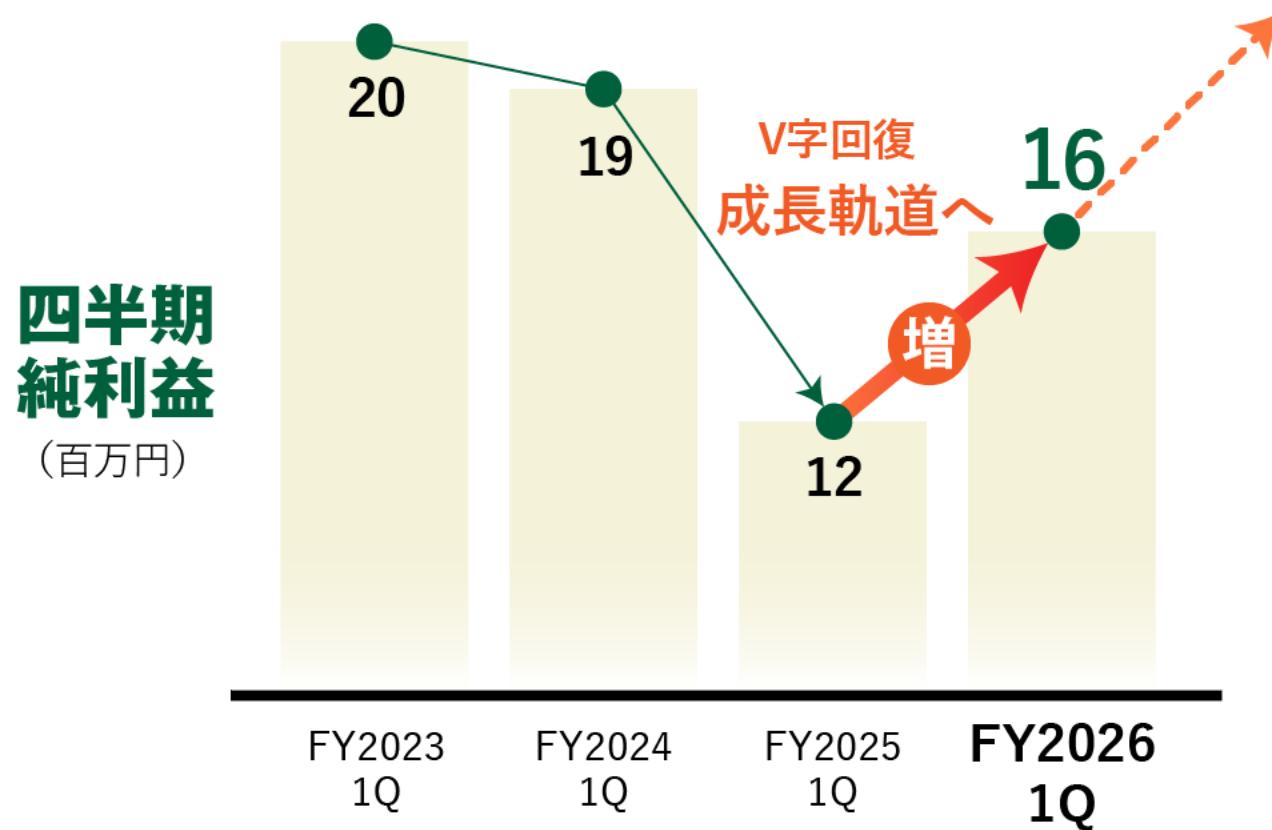
基板製造を軸とした周辺サービスの利用拡大が継続成長の起点に



2026年3月期 第1四半期決算 概要

四半期純利益-推移

予算達成に向け順調なスタート



2026年3月期 第1四半期決算 概要

売上増加の要因分析

顧客層の変化 × サービス範囲の拡大で売上構造が進化

中堅・大手企業の比率が年々増加

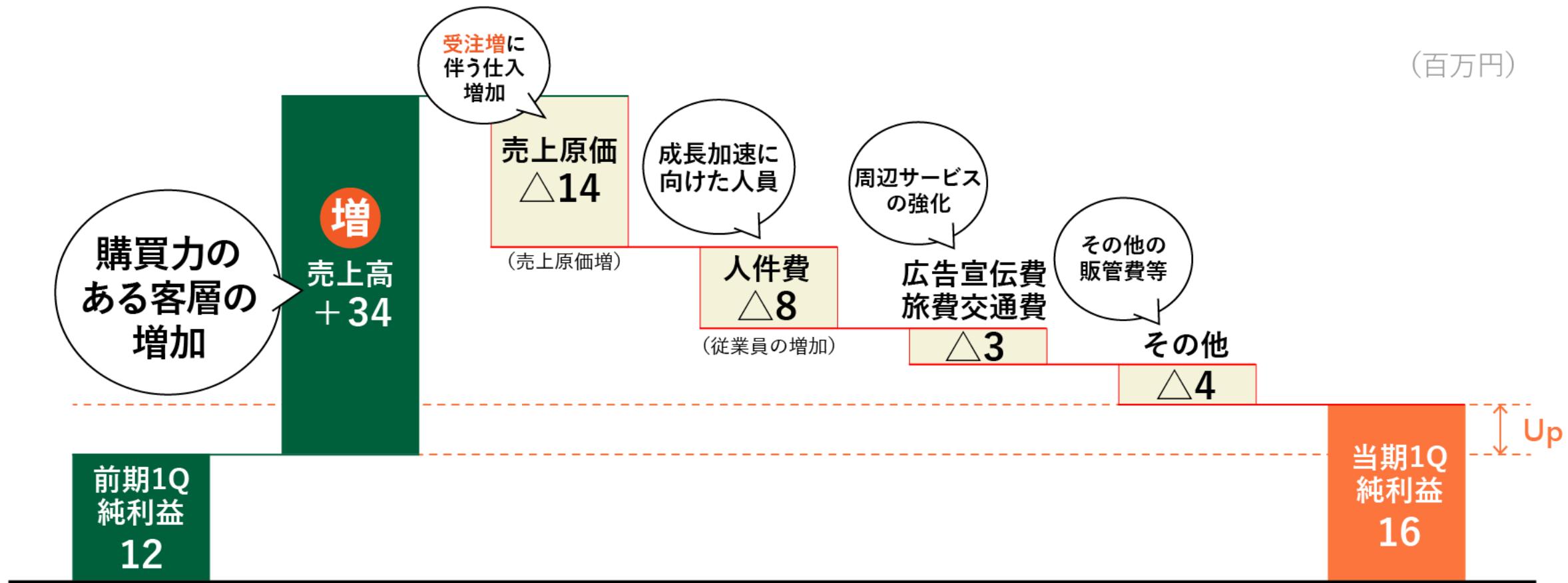


※周辺サービス：基板製造サービスの前後工程の基板設計、実装、部品調達サービス

2026年3月期 第1四半期決算 概要

利益増加の要因分析

成長への積極投資と利益成長を両輪で加速



2026年3月期 第1四半期決算 概要

通期業績サマリ

売上高

505 百万円 + 7.3 %

前年同期比 (増減)

当期純利益

16 百万円 + 34.6 %

前年同期比 (増減)

○周辺サービスの利用拡大で売上高は前期比+7.3%

○中堅・大手客など購買力の高い顧客層を取り込み、売上総利益は前期比+12.0%

○成長に向けた人員増により販売管理費が前期比+9.9%となるが、利益成長が上回り、当期純利益は前期比+34.6%

トピック

- 顧客体験と収益性の向上に向けた新施策



- AIブロック図自動生成サービスをリリース
- ブロック図を自然言語からAIで自動生成し、設計工数・時間を削減
- 構想段階から支援し、上流工程のDX・LTV向上に貢献

トピック

- ・ 次世代市場・グローバルへの展開強化



- ・ ローム社とパートナー契約締結
 - ・ gene × ロームでPoC支援を実現し、エッジAI市場に向けた先行投資と技術体制の強化を推進
- ・ 海外事業推進室を新設
 - ・ 北米など成長市場に向け、国内No.1の強みを活かした海外展開を加速

トピック

- ESG貢献と社会的価値の両立 (CO₂・産廃を削減)

基板回収リサイクルサポートを開始



02

今後の成長戦略
(中期経営計画の概要)

今後の成長戦略（中期経営計画の概要）

経営体制

既存事業の拡大と、新規事業の探索を加速させる「両利きの経営」を実施。

代表取締役社長
後藤 康進



2011年より事業統括として従事、
代表として施策実行を加速させる

戸板.com
ピーバンドットコム

 S-GOK

プリント基板Eコマース

開発・量産支援サービス

既存事業
分野の拡大

新規事業
分野の探索

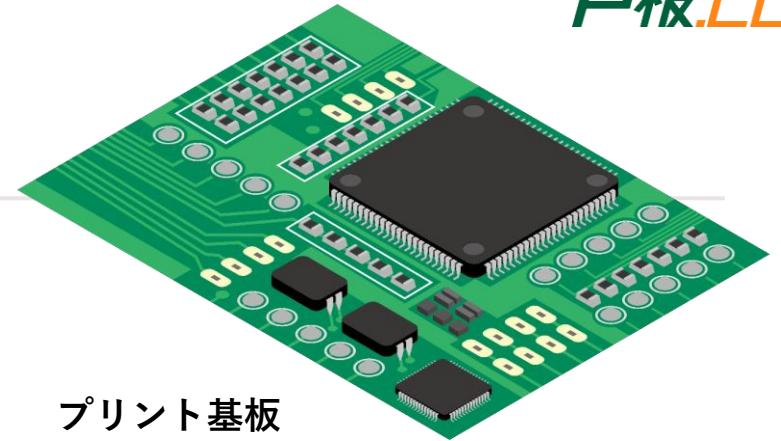
取締役会長
田坂 正樹

事業創出のパイオニアとして培ってきた実績
と、社外ネットワークを活用し、事業規模拡
大に最も重要な新規の事業分野の探索、立ち
上げに注力

中期経営計画

メインサービス

事業の軸は、プリント基板のネット通販「P板.com（ピーバンドットコム）」
プリント基板のネット通販市場で国内シェアNo.1を獲得している。



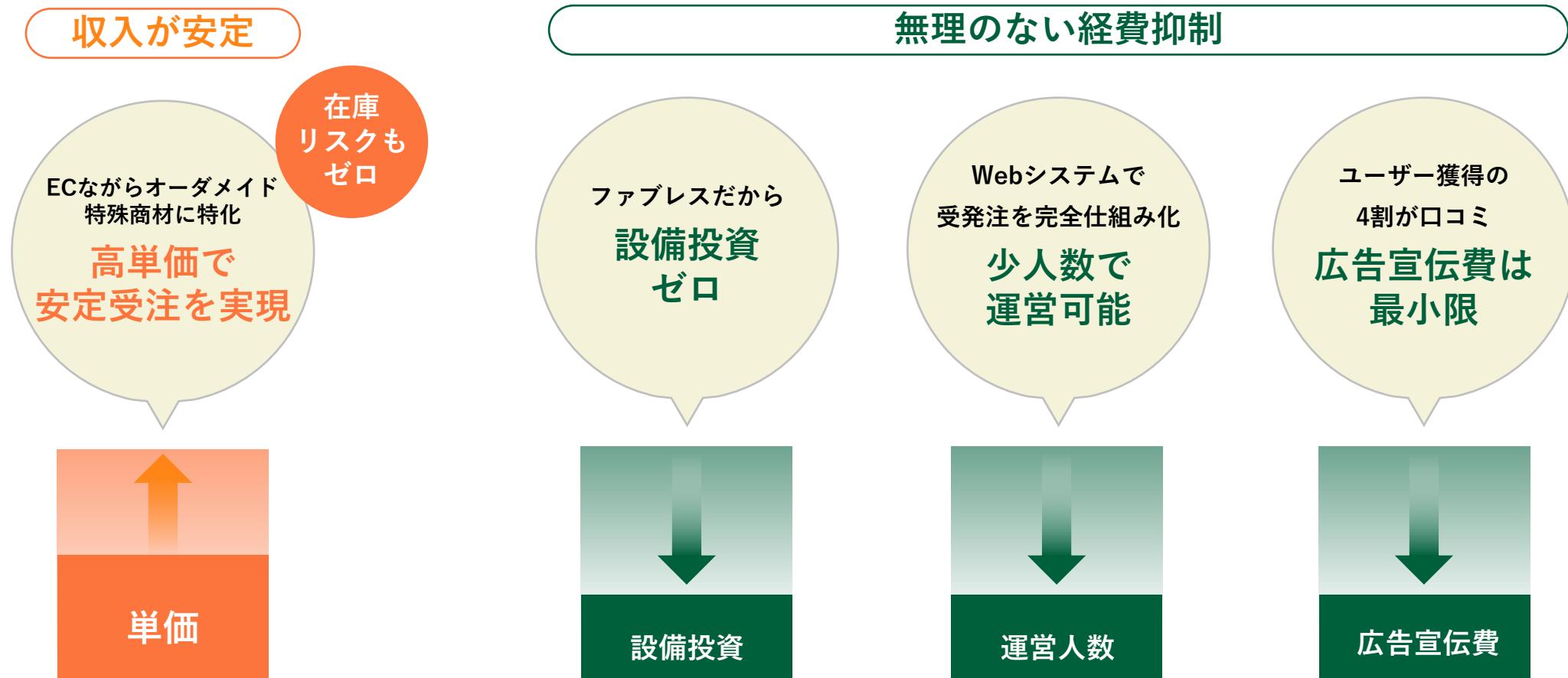
プリント基板



設計から実装まで、試作から量産まで、WEB上でワンストップ提供

ビジネスモデルの特徴

プリント基板のネット通販で圧倒的シェアを持つ「P板.com」の高い収益性を実現する4つの特徴



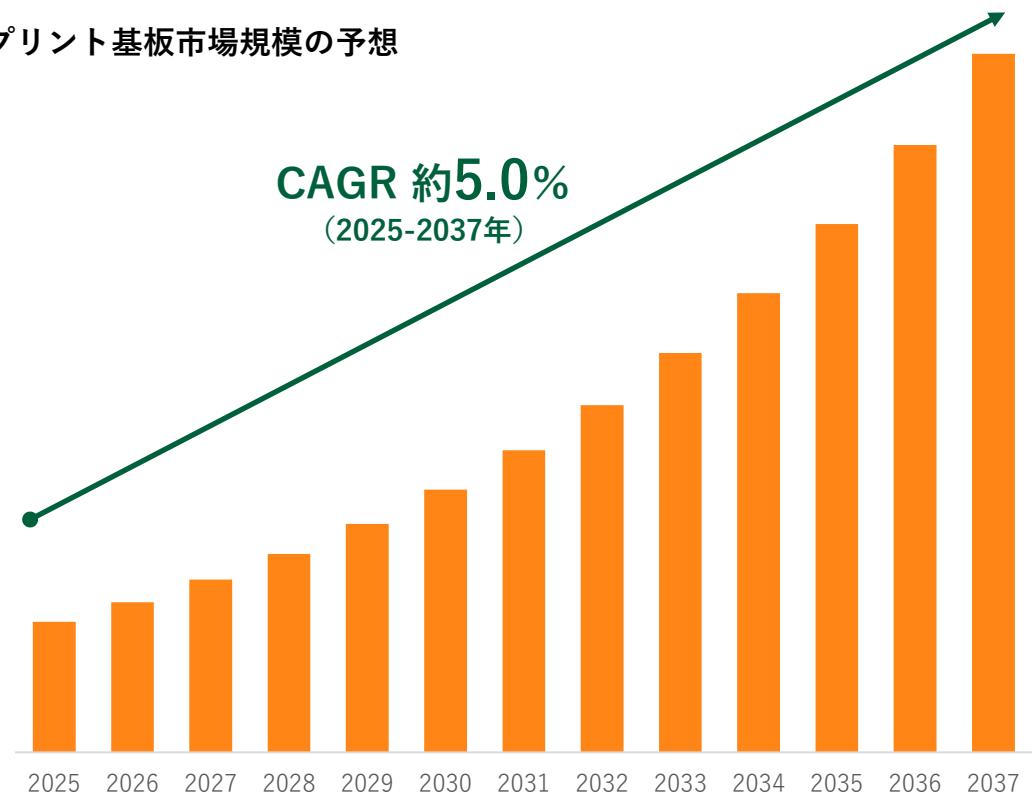
ファブレス：工場を所有せずに製造業としての活動を行う企業を指す造語およびビジネスモデル

今後の成長戦略（中期経営計画の概要）

プリント基板市場の成長予測2025–2037年

プリント基板市場は、脱炭素や電池技術の進展などの後押しを受け、2037年には2025年の1.8倍近くまで成長する見込み。

プリント基板市場規模の予想



市場成長の主要要因



出典：<https://www.sdki.jp/reports/printed-circuit-board-market/90190>

今後の成長戦略（中期経営計画の概要）

事業環境：プリント基板業界マップ

国内小規模・中堅基板製造メーカーの領域へ参入することにより、
市場シェア拡大を目指す。



今後の成長戦略（中期経営計画の概要）

基本方針

プリント基板のEC事業のシェア拡大を基本方針として、3つの戦略を実行する。

戦略
1

シェアの拡大へ向けた 取り組み

培ってきたECビジネスの
強みとDXを武器に、
シェアを拡大していく。

プリント基板のネット通販サイト

戸板.COM
ピーバンドットコム

戦略
2

電子部品調達の自動化

プリント基板には、
必ず電子部品が実装される。
調達の自動化で、
売上を伸ばしていく。

2024年12月20日
自動化スタート



戦略
3

モノづくり コンサルティングサービス

アイデアを製品に。
要件定義から市場に流通するまで
伴走し、サポートしていく。

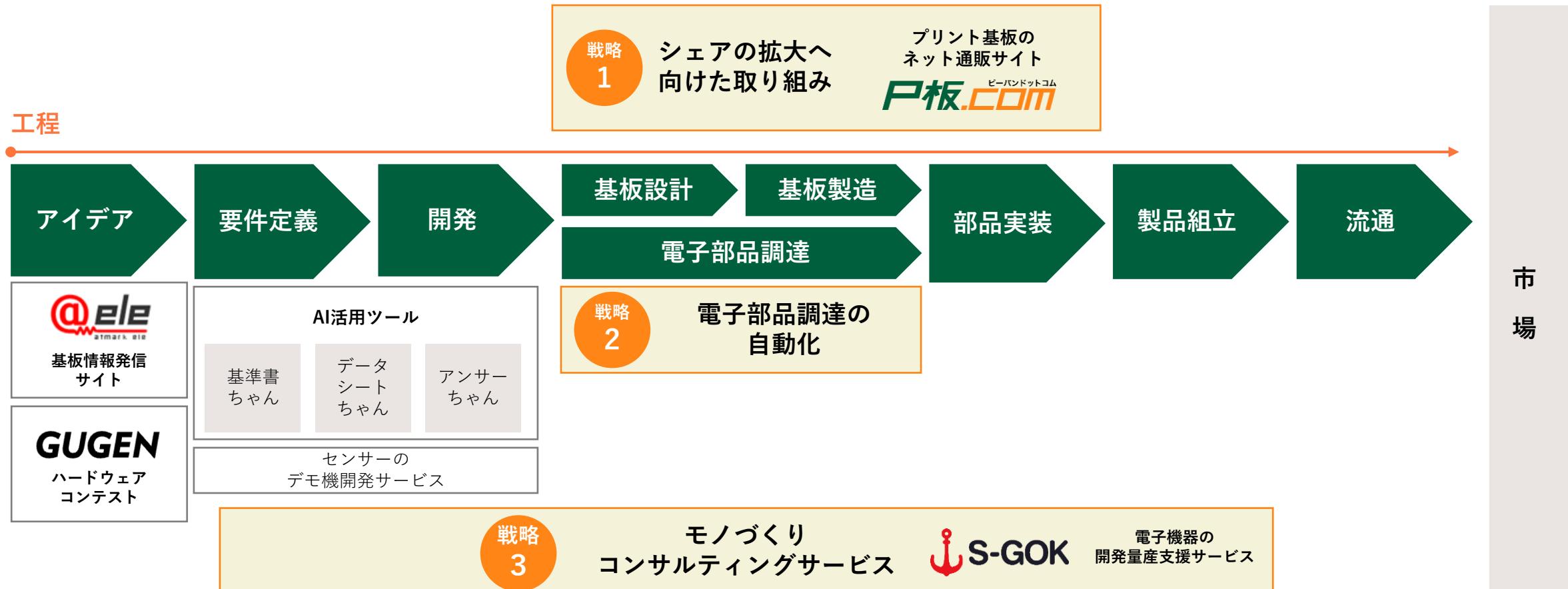
電子機器の開発量産支援サービス

S-GOK
S-GOK

今後の成長戦略（中期経営計画の概要）

基本方針

プリント基板のEC事業のシェア拡大を基本方針として、3つの戦略を実行する。



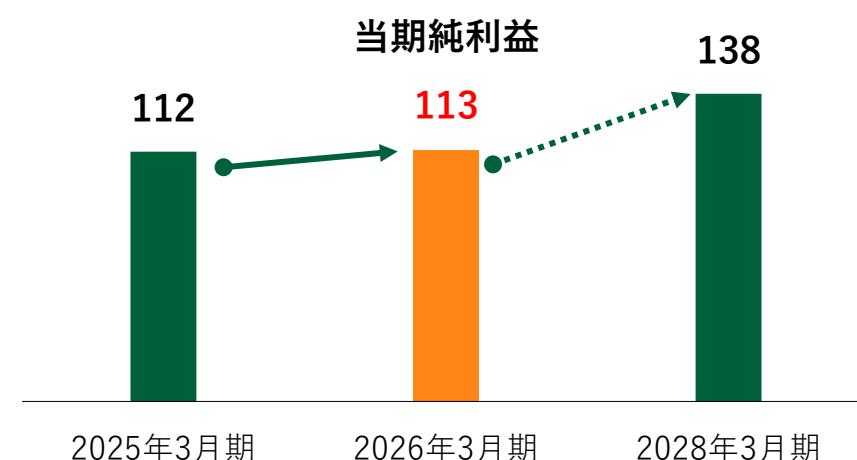
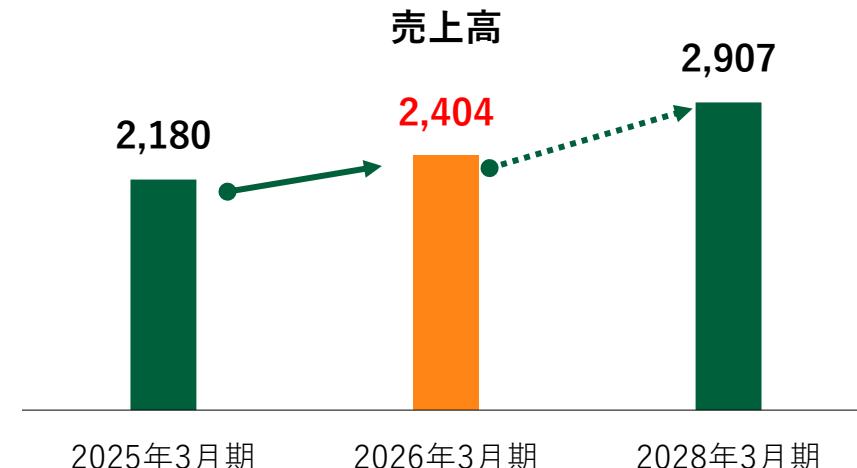
今後の成長戦略（中期経営計画の概要）

中期経営計画の進捗

前期に引き続き、堅調な業績推移により、売上高・当期純利益ともに中期経営計画の想定通りの数値を予定

	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	2026年3月期 業績予想	2028年3月期 計画
売上高	2,015	2,180	2,404	2,907
CAGR	—	8.2%	9.2%	9.6%
当期純利益	93	112	113	138
CAGR	—	20.6%	10.1%	10.3%

（単価：百万円）



03

新たな成長ドメイン

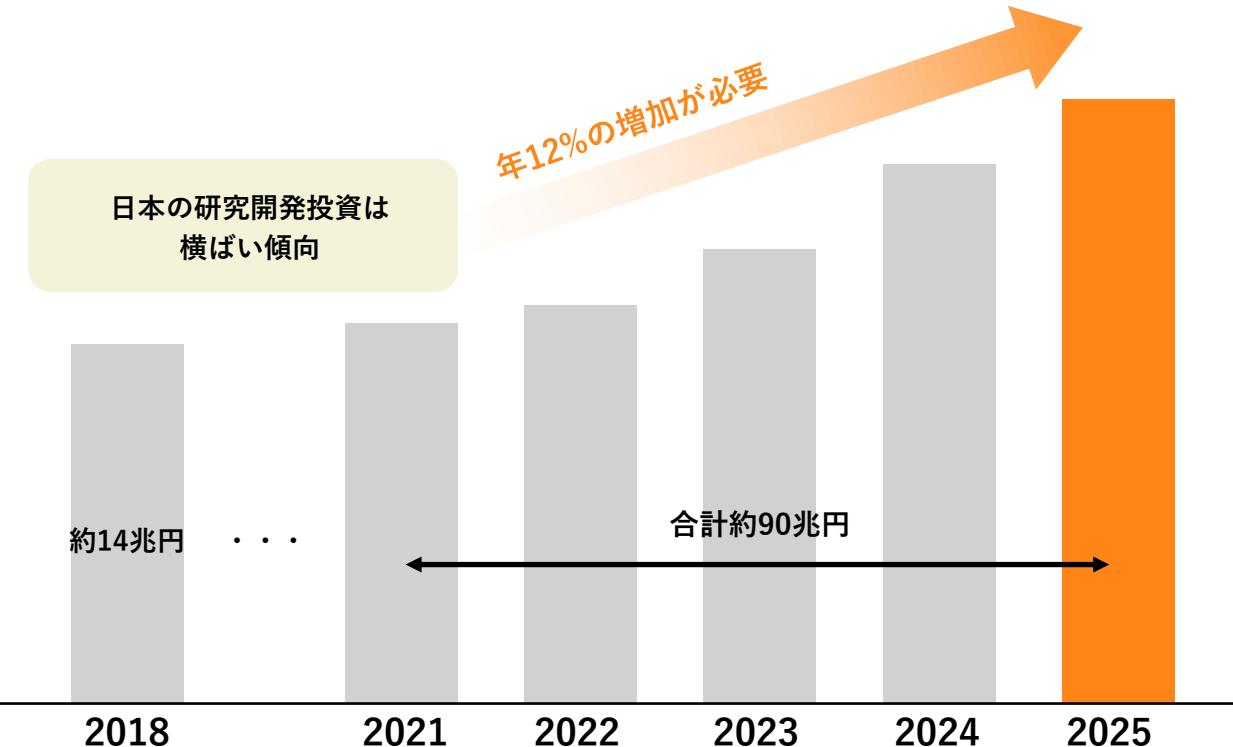
新たな成長ドメイン

外部環境：研究開発投資の増加

研究開発投資の重要性が再認識され、各企業で増加傾向にある。

2021年からの5年間で、官民合計で約120兆円の研究開発投資を目標としている。

民間企業の研究開発費の目標



第6期

科学技術・イノベーション基本計画 (2021年3月閣議決定)

- 次の5年間で約30兆円の政府研究開発投資を確保し、これを呼び水として官民合わせて約120兆円の研究開発投資を行っていく
- 民間企業の研究開発投資の目標は約90兆円

【参考】2025年7月15日
第7期科学技術・イノベーション基本計画の検討も開始（出展：科学技術・学術審議会総会〈第77回〉）

新たな成長ドメイン

外部環境：製造業が抱える構造的な課題と機会

P板.comユーザの多くは、研究開発部門（R&D）に所属するハードウェア開発者であり、彼らは日本の製造業が抱える構造的な課題への対応に直面している。

ハードウェア開発者の課題



R&D部門の役割が
製品開発から
事業貢献へシフト



不安定な市場環境・
サプライチェーンの
空洞化



製造業の構造変化・
ものづくりDX対応
の遅れ

ハードウェア開発エンジニアが研究開発に集中し、イノベーション創出を手助けをする方法はなにか？

新たな成長ドメイン

新たなサプライチェーンの提供

製品開発サイクルを加速する場所「GUGEN Hub」を提供する。

プリント基板のサプライチェーン構築ノウハウを活用し、各サービスをつなぐHubとなる。



04

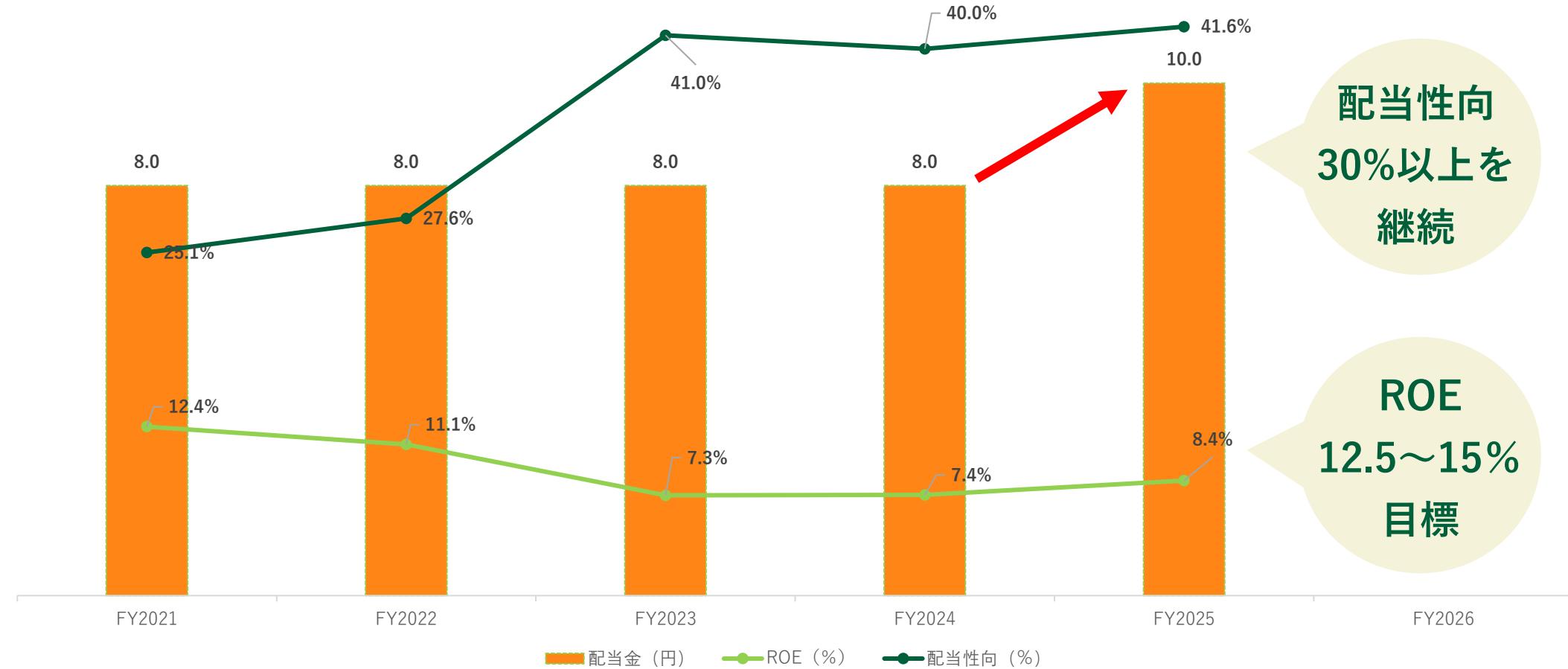


株主還元について

株主還元について

株主還元（増配の実施）

株主価値の最大化は最重要課題、株主の皆様への還元も継続的かつ積極的に実施



弊社IRに関する情報やご質問は
下記IRページよりお願いします。

ピーバン IR



<https://www.p-ban.com/corporate/ir/>